

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究課題名	周術期小児の喉頭痙攣急変対応シミュレーションにおける学習効果の検討 —手術室看護師の思考の変化を通して—
研究責任者氏名	湯浅 真裕美
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2026年3月24日～2027年3月31日
研究の対象	以下に該当する研修生・看護職員を研究対象とします。
	2025年度兵庫医科大学臨床教育統括センター認定看護師教育課程（手術看護分野）の研修生（手術室看護師）と兵庫医科大学病院手術室看護師で周術期小児の喉頭痙攣急変対応シミュレーション勉強会の参加し、研究への利用に同意いただいた方。
	勉強会実施日：西暦 2025年12月15日、19日、2026年1月16日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
	取得の方法： <input type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他（勉強会の一環で実施）
研究目的・意義	手術室看護師を対象とした「周術期小児の喉頭痙攣急変対応シミュレーション勉強会」において、研修評価のため業務の一環として実施した研修前後の自由記載アンケートを用い、急変時の判断や行動に関する思考過程の変化を探索します。 急変対応シミュレーションの教育効果は、主観的評価や技術チェックリストで評価されることが多く、急変時に必要な判断や優先順位づけなどの思考過程の変化は十分に評価されていません。本研究では、自由記載アンケートを用いて、シミュレーション教育による思考過程の変化を質的に明らかにすることを目的としています。
研究の方法	2025年度兵庫医科大学臨床教育統括センター認定看護師教育課程（手術看護分野）の研修生（手術室看護師）および兵庫医科大学病院手術室看護師の希望者を対象に、業務の一環として実施された「周術期小児の喉頭痙攣急変対応シミュレーション勉強会」で取得した無記名アンケートを用います。 アンケートは勉強会前後の振り返りとして実施されており、本研究ではその自由記載内容を用いて、急変対応に関する思考過程の変化を質的に分析します。

個人情報の 取扱い	無記名アンケートのため特定の個人を識別可能とする情報は収集してしません。記述内容に個人を特定し得る情報がある場合は削除もしくは一般化する等加工を行います。本研究に係わるすべての研究者は、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。
本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学 臨床教育統括センター 担当者氏名:湯浅 真裕美 [電話]月~金 9:00~17:00 0798-45-6627 [mail]yuasa@hyo-med.ac.jp